カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

授業見学
大歓迎！
TEL
03-
5950-1771

森林大国を生かす建築の在り方を考えあう。

ルポ　第21期生（1年生）飯能・秩父研修

東京建築カレッジでは、入学して2ヵ月が経った頃、飯能・秩父地域（西川林業地）で一泊二日の研修を行います。木造住宅を得意とする建築の専門家になるために、木のこと、林業・製材業の現在の姿をしっかり学んでおこうというのが狙いです。同地域で伝統の技法を現代に継承してきた棟梁（とうりょう）の話を聞く機会もあります。1年生23人の実地学習の一部をお伝えします。

（左写真）吾野原木センターで、西川材の原木取引の実情を学ぶ。

「木と建築」をテーマに実地で学習

飯能・秩父研修は、東京建築カレッジ独自の教育プログラムです。橋本英夫教務運営委員・統括指導員はその意義について、昨年10月に行われた20周年記念座談会でこう語っています。

「修理しながら長く使っていく木造建築は、自然環境や限られた資源を大切にしていくという思想にも通じます。飯能・秩父研修は集中授業で建築のことを少しかじった後の学びとしてタイムリーです」。

研修前の事前学習では、わが国が世界トップクラスの森林大国であるにもかかわらず、国内材を有効に利用できていない厳しい現実を知らされました。それでは現場はどのように活路を開こうとしているのか、首都圏からもっとも近い林業地で実地に学びました。

プレカット工場の手刻み作業に感動

初日5月27日（金）、最初に訪問した協同組合フォレスト西川（大河原章吉理事長）の芦苅場工場は、プレカット工場です。木材を組み上げる際に不可欠な「継手・仕口」がコンピュータ制御の機械で次々に作られる様子を見学しました。木造建築の現場、機械ではできない加工があり、そこでは「手刻み」が行われていました（右写真）。

研修生たちは「手刻みが必要とされるのはどういう場合か」次々

協同組合フォレスト西川の芦苅場工場で

2017年度・第22期生　募集日程

	第１回募集	第２回募集	第３回募集	第４回募集
学校説明会	8月30日（火）	10月16日（日）	11月22日（火）	1月25日（水）
応募締切	9月8日（木）	10月26日（水）	12月1日（木）	2月2日（木）
試験日	9月14日（水）	10月30日（日）	12月7日（水）	2月8日（水）
結果発表	9月16日（火）	11月2日（水）	12月9日（金）	2月10日（金）

資料請求・毎週金曜・土曜の授業見学のお問い合わせはお気軽にどうぞ！

※説明会の開催時間　①午後２時から　②午後７時から（１時間半程度、池袋校舎）

※試験日の開催時間　午前１０時から午後３時（池袋校舎）

※見学会　6月24日（金）、7月22日（金）、8月19日（金）江東実習場：午後1時から3時

に質問、熟練の技術者さんは作業中にもかかわらず、嫌な顔せず丁寧に答えてくれました。

フォレスト西川は、飯能の製材流通業４社と１森林組合が生き残りをかけて立ち上げた協同組合です。良質な西川材を多くの人の使ってもらうために、設計部門付きのプレカット工場（芦苅場工場）と、集成材加工・防腐・防虫処理・人工乾燥の工場（阿須工場）を稼動させています。

このほか初日は、同協組加盟の大河原木材の製材所、ストックヤードやモデルハウス、吾野原木センターを見学。併せて、地域の木を生かす建築物を手掛けてきた清水慶吉棟梁の話を聞く機会も得ました。

◇　◇　◇

２日目、５月28日（土）は、故山中隆太郎棟梁が施工した「郷路館」を訪ねた後、東京大学秩父演習林に出掛けました。ここは森林大国・日本の豊かさを実感できる場所です。元職員の方の説明で受けながら、日本全国から集められた多種類の樹木を観察しました。貴重な自然環境を生かす暮らしに、建築の専門家として貢献したいという思いにさせられる研修となりました。

この日は他に、山林と共に暮らしてきた旧大滝村の歴史と林業の話を千坂茂元村長に聞きました（写真左）。

２日間の研修の最後は、山中隆太郎棟梁の後を継ぐ山中清棟梁の案内で、まつり会館、秩父神社、古建築再生事例を巡ります。そして、隆太郎棟梁の遊び心がたっぷりと注ぎ込まれた山中清棟梁のご自宅で手料理の接待を受け、二日間の研修を締めくくります。

しかし、カレッジの研修は帰途のバスの中でも映像学習として続くのでした。

東京大学秩父演習林で森林資源の豊かさを味わう

木と森への関心が拡大、木造建築にチャンスが広がる

カレッジの授業見学は、お気軽に！授業は金、土。事前にご連絡ください。

東京建築カレッジ「木と建築」学習の構造

（抜粋）

◆森林文化と林業

（１年次）「飯能・秩父研修」

事前学習＆吾野原木センター、東京大学演習林、元大滝村村長の話

（２年次）「林業研修」

下草刈り体験、林業家・井上淳治さんから国内林業再生の可能性と条件を聞く。

◆製材流通業の現在と課題

（１年次）「飯能・秩父研修」

事前学習＆フォレスト西川、大河原木材の工場とストックヤード、モデルハウス見学

◆地域の木を生かす建築の在り方

（１年次）「飯能・秩父研修」

清水慶吉棟梁、山中清棟梁の仕事から学ぶ。

初日夜は交流会。

共に学ぶ意欲高めあいました！

夜の交流会では、研修生と講師・指導員が一堂に集い、交流しました。お互いを良く知り、違いを認め合うクラスの気風も定着したようです。

２２期生募集
ポスター＆リーフ
まもなく完成！
新バージョンです。
お楽しみに！